

平成 19 年 3 月 19 日

4 号機原子炉内での座金の発見に関する調査結果について

定期検査中の 4 号機において、平成 19 年 2 月 19 日、原子炉圧力容器底部の弁点検のための準備作業を行っていたところ、原子炉圧力容器の底部に座金（直径約 1 cm）が 1 個あることを協力企業作業員が水中カメラにて発見いたしました。（[平成 19 年 2 月 19 日お知らせ済み](#)）

座金は、同日回収いたしました。

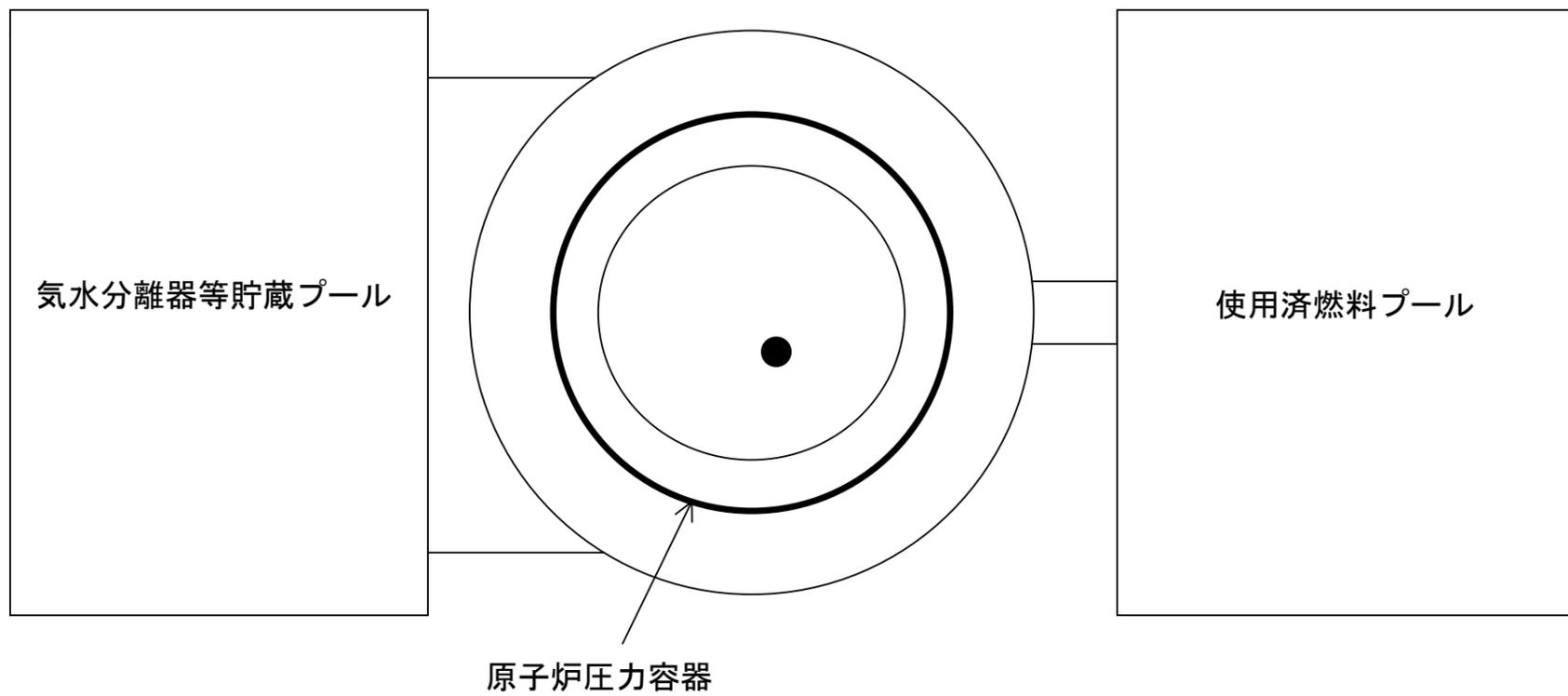
座金の材質は炭素鋼で、全面に腐食が確認されました。

炉内構造物の材質はすべてステンレスであることから、過去に実施した原子炉上部および原子炉内における工事記録を調査いたしましたが、当該座金が混入した経路および時期の特定には至りませんでした。

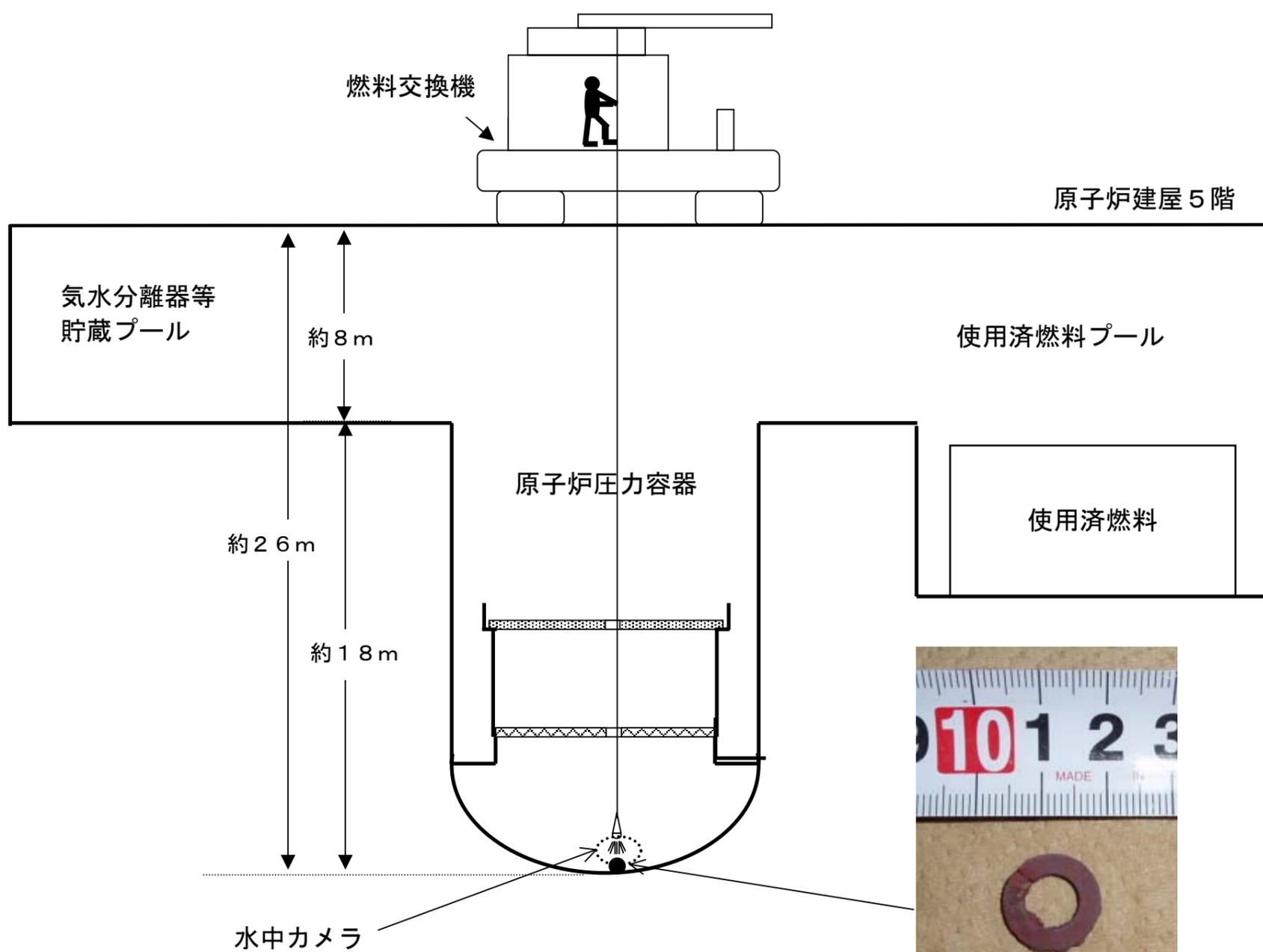
なお、当該座金は腐食が進んでいたこと、また、平成 11 年度以降は異物混入防止対策の強化が図られていることから、建設時も含め、これ以前に原子炉内に落下したものと推定いたしました。

今後とも、引き続き異物混入防止対策を徹底してまいります。

以 上



● : 発見箇所



回収した座金

4号機原子炉内での座金の発見概略図